

2 個別事業評価調書

団体名 :与謝野町

事業名	地区会館等整備事業					
事業の概要	コミュニティ施設 備品について、老朽化等により施設利用者に支障をきたしており 施設の充実及び利用者の利便性の向上を図るため、整備を行うものである。 地区会館等整備 (三河内大道町内会館、四辻公民館、下山田下地会館、三河内上地会館) 地区会館等備品整備 (三河内区、四辻区、石川区)					
	目標時期	平成17年度				
	総事業費	2,375	本年度事業費	2,375	交付金交付額	1,187
事業の必要性	施設及び施設利用者の利便性の向上が求められており、地域コミュニティの推進がますます重要視される中で、施設及び備品の計画的整備は必要不可欠となっている。					
事業の有効性	施設及び施設利用者に支障がでており、多様化するニーズ及びコミュニティ活動を実施する上において本整備は極めて有効性の高い事業である。					
事業の効率性	施設及び施設利用者に支障がでており、多様化するニーズ及びコミュニティ活動を実施する上において本整備は極めて有効性の高い事業である。					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
	2 住民の自治意識を高める成果 本整備により利用者の利便性は以前よりも向上しており、コミュニティ活動の更なる発展へつながるものと思料する。					
	3 リーディング・モデル成果 様々な地域コミュニティが展開される中、その拠点である施設の整備により、より整った環境の中でのコミュニティ活動の推進が他のモデルとして期待できる。					
	4 広域的波及成果 様々な地域コミュニティが展開される中、その拠点である施設の整備により、より整った環境の中でのコミュニティ活動の推進が他のモデルとして期待できる。					
	5 行財政改革に資する成果 自助・公助・共助の仕組みづくりを明確にすることにより今後自助によるコミュニティの活性化に期待ができ、以後の施設維持管理費の軽減に繋がるものである。					
	6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。